

TOPIC <

～被災自治体への23区連携対応～
 「令和3年7月1日からの大雨による災害」・
 「令和3年8月11日からの大雨による災害」
 に係る被災自治体への支援

令和3年7月・8月

令和3年7月1日から3日にかけて、東海地方から関東地方南部を中心に記録的な大雨となり、静岡県熱海市で土石流が発生したほか、河川の増水や低地の浸水など大きな被害をもたらしました。また、同年8月11日から19日にかけて、西日本から東日本の広い範囲で記録的な大雨となり、全国各地で土砂災害や河川の増水、低地の浸水など大きな被害をもたらしました。特別区は、災害救助法が適用され、特に被害が大きかった静岡県、広島県及び福岡県に対して、23区共同で復興支援金を提供しました。

～特別区が連携して対応した主な災害支援～

- 東日本大震災（平成23年3月11日）
- 平成28年熊本地震（平成28年4月14日～16日）
- 平成30年7月豪雨（平成30年7月）
- 平成30年北海道胆振東部地震（平成30年9月6日）
- 令和元年房総半島台風（令和元年9月）
- 令和元年東日本台風（令和元年10月）
- 令和2年7月豪雨（令和2年7月）
- 令和3年福島県沖を震源とする地震（令和3年2月）

TOPIC <

～企業との包括連携協定の締結～
 特別区長会と明治安田生命保険相互会社
 との包括連携協定の締結

令和4年3月29日(火)

特別区長会と明治安田生命保険相互会社は包括連携協定を締結し、「産業・観光振興に関すること」、「健康増進に関すること」などの事項において、積極的な連携を推進することを発表しました。

EVENT <

～令和3年度第2回全国連携展示(東北絆まつり)～
 「東北の絆と復興のメッセージ」
 ～東北絆まつり～

令和3年11月16日(火)～12月23日(木)

東北絆まつりへの連携・協力の取組みとして、東日本大震災からの復興を願う東北絆まつりの意義や足跡、6祭り（青森ねぶた祭・秋田竿燈まつり・盛岡さんさ踊り・山形花笠まつり・仙台七夕まつり・福島わらじまつり）の内容を紹介する展示や東北絆まつりの映像上映などを東京区政会館で行いました。



※「東北絆まつり2022秋田」が、令和4年5月28日(土)、29日(日)の2日間、秋田市で開催されます。東京23区・特別区長会は、「東北絆まつり」を応援しています。

EVENT <

～令和3年度第2回全国連携講演会(オンライン)～
 「地域脱炭素時代の地域間連携を考える」

令和4年2月9日(水)

「地域脱炭素時代の地域間連携を考える」をテーマに、講演会(オンライン)を開催し、161名の方に参加いただきました。

※講演会の内容は、特別区全国連携プロジェクトホームページ(<http://collabo.tokyo-23city.or.jp/>)からご覧いただけます。

特別区全国連携プロジェクト
公式Twitter
 @Zenkoku_Renkei

プロジェクトのイベント情報を発信するほか、連携している市町村のイベント情報なども発信します。

よろしければ、
 フォローを
 お願いします!



特別区全国連携プロジェクト【ホームページ】
<http://collabo.tokyo-23city.or.jp/>

最新情報や
 イベント情報などを随時更新!



パソコン・スマートフォン・タブレットからご覧いただけます

全国連携 Q検索



各自治体の皆様へ 会員登録のご案内

特別区全国連携プロジェクトホームページは、全国自治体の皆様を対象に、会員専用のホームページを用意しております。会員登録をさせていただきますと、掲示板機能を使った東京23区との連携事業に関する情報交換や、本ホームページ上での貴自治体情報のPRが可能になります。

※本ホームページの登録・利用は無料です。

問い合わせ

特別区全国連携プロジェクトに関するお問い合わせ
03-5210-9747

特別区長会事務局 調査第1課 全国連携プロジェクト担当

特別区全国連携プロジェクトの会員専用ホームページ、会員登録についてのお問い合わせ
03-5210-9067

公益財団法人特別区協議会 事業部事業推進課

東京23区 TOKYO 23 CITY 全国連携NEWS

日本を元気に!
 23区から全国へ
 全国から23区へ



特別区 全国連携プロジェクトとは?

東京を含む全国各地域がともに発展・成長し、共存共栄を図ることを目的に、産業、観光、文化、スポーツなど様々な分野で特別区(東京23区)と全国の各地域が連携・交流事業を行う取り組みとして、平成26年9月に特別区長会が立ち上げたプロジェクトです。

vol. 5

発行・編集:特別区長会・公益財団法人特別区協議会
 発行:令和4年3月30日

このNEWSは、東京23区が取り組む「特別区全国連携プロジェクト」を全国の多くの皆様に知っていただくためのPR情報紙です。本紙は、次のHPからもご覧いただけます。
 特別区全国連携プロジェクトHP <http://collabo.tokyo-23city.or.jp/>
 特別区長会HP <http://www.tokyo23city-kuchokai.jp/>
 (特別区長会とは、東京23区間の連携を図り、特別区政の円滑な運営と特別区の自治の発展に資するため、昭和22年5月1日に設立された特別区23区長が組織する任意団体です。)

広域共同計画(地域再生計画)による 事業の支援

特別区長会は、平成28年4月に北海道町村会・京都府市長会・京都府町村会と広域連携協定を締結して以降、これまでに13の市長会・町村会と同協定を締結し、様々な広域連携の取り組みを進めてきました。

こうした中、令和2年4月からは、北海道十勝地域の町村(※1)と台東区・墨田区、京都山城地域の市町村(※2)と渋谷区が、それぞれ地域再生法に基づく広域共同計画(地域再生

計画)を策定し、地方創生推進交付金を活用した関係人口の創出・拡大を目指す広域連携事業を実施しています。

本号では、上記2事業の取り組みについてご紹介します。特別区長会は、今後も同事業の支援を継続するとともに、コロナ禍にあっても遠隔かつ広域の地域同士の連携・交流を様々なスタイルで工夫しながら進めていきます。

※1 北海道十勝地域16町2村

音更町/士幌町/上士幌町/
 鹿追町/新得町/清水町/
 芽室町/中札内村/更別村/
 大樹町/広尾町/幕別町/
 池田町/豊頃町/本別町/
 足寄町/陸別町/浦幌町



※2 京都府山城地域5市6町1村

宇治市/城陽市/八幡市/
 京田辺市/木津川市/
 久御山町/井手町/
 宇治田原町/笠置町/
 精華町/和束町/南山城村



広域共同計画(地域再生計画)について

広域共同計画(地域再生計画)とは、地域経済の活性化、地域における雇用機会の創出、その他の地域の活力の再生を総合的かつ効果的に推進するために地方公共団体が策定するものです。また、策定した計画について内閣総理大臣の認定を受けることで、計画に記載した事業の実施に当たり、財政・金融等の支援措置を活用することができます。

北海道十勝地域 × 東京台東区・墨田区連携

～ 大地のタカラ × 江戸の子カラ 関係人口創出プロジェクト～

北海道十勝地域における広大な十勝フィールドや質の高い農産物等と東京都台東区・墨田区が有する江戸の食文化との融合を進め、新たな商品やブランドを創出することにより十勝地域の活力向上、台東区・墨田区における区民や企業の活躍フィールドの拡大、食育や健康の推進による、台東区・墨田区における賑わいの維持・拡大を図るとともに、「都市住民が地方で活躍する」「地方住民が都市で活躍する」といった、都市と地方がともに発展し、共存共栄する新たな関係づくりを目指しています。

令和2年度の主な取組み

- ◆たいとう・すみだ 十勝ウィーク(2WAYクッキング、十勝食材フェア)
- ◆「たいとう・すみだ特産品づくり」及び「十勝・東京スポーツ・アウトドア交流拡大事業」に向けた検討(アンケート・ヒアリング・ニーズ調査)

※事業実施期間は、令和2年4月1日から令和5年3月31日までの3か年

令和3年度の主な取組み

- ◆たいとう・すみだ 十勝ウィーク(2WAYクッキング、十勝食材フェア、十勝特産品フェア、デジタル森林浴、つながりプロジェクト)
- ◆交流プログラム(オンラインモニタリングツアー)の実施

2年間を振り返って

令和2年度から取り組んでいる本プロジェクトは、スタート時から新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けましたが、デジタルやオンラインを活用した内容に見直し、両地域の交流を図ってきました。

令和3年度は、次のような取組みを行いました。まず、令和3年9月30日から10月12日にかけて、両区において「たいとう・すみだ 北海道十勝ウィーク」を実施しました。十勝の生産者が講師を務める「2WAYクッキング」や、十勝地域18町村の特産品90品を一堂に集めた「十勝特産品フェア」では、十勝の大自然の恵みに多くの区民の皆様から評価をいただきました。

また、十勝のさらなるファン拡大を目的に実施した「十勝食材フェア」では、両区の飲食店26店が十勝のフレッシュな農産物等を用いて53品もの新メニューを開発、提供し、多くの区民に味わっていただきました。



十勝食材フェア



デジタル森林浴

さらに、テクノロジーを活用して「デジタル森林浴」を実施しました。全方向のマルチスクリーンに映し出される十勝の風景、小川のせせらぎの音、森林の香りなど、十勝の自然を体感していただき、「本当に自然の中にいるようだ」「癒やされる」などの感想が寄せられました。

令和4年2月には、両地域の多様な「つながり」の構築を目指し、オンラインモニタリングツアーを実施しました。両区から58名の参加があり、自転車旅行で地域おこしに取り組む芽室町のNPOの方々や新得町のアドベンチャーガイドの方々と交流を行いました。

令和4年度は、さらなるつながりとして「子どもの交流事業」を実施することに加え、十勝のエゾシカに着目し、十勝地域と台東区・墨田区との交流を通して、新たな特産品の開発を行います。そして、この2年間の取組みを基礎とし、当初に計画した「リアルな交流」の展開を期待しています。

(十勝町村会事務局)

京都やましろ地域 × 東京しぶや連携

～ 和文化 × 多文化 関係人口創出プロジェクト～

京都府山城地域のお茶に代表される伝統的な和文化と東京都渋谷区の先進的なファッション、デザイン等の多文化との融合を進め、新たな商品や生活文化を創出することにより、京都府山城地域の再生と東京都渋谷区の魅力の維持・拡大を図ることで「都市住民が地方で活躍する」「地方住民が都市で活躍する」といった、地方と都市ともに発展・成長するような共存共栄する新しい関係づくりを目指しています。

令和2年度の主な取組み

- ◆京都の茶文化・渋谷カルチャー連携進化事業in渋谷(デジタルお茶会映像配信、SNSキャンペーン)
- ◆「お茶の京都・東京しぶや特産品づくり」及び「京都の資源を活用した渋谷カルチャー進化事業」に向けた検討(アンケート・ヒアリング・ニーズ調査)

※事業の実施期間は、令和2年4月1日から令和5年3月31日までの3か年

令和3年度の主な取組み

- ◆デジタル交流推進事業(京都やましろ食材フェア、お茶の美味しい淹れ方・飲み方)
- ◆お茶の京都・東京しぶや特産品づくり(お茶のブレンド開発、やましろ特産品によるメニューの開発・提供)
- ◆交流プログラム(オンラインツアー)の実施

2年間を振り返って

山城地域は、旧国名「山城国」のうち、現在の京都市を除く京都府の南部地域の慣用的呼称で、京都・奈良・大阪の間、近畿地方の中央部に位置し、交通の便を活かし古くから発展してきた歴史的地域です。近年は、最南部に関西文化学術研究都市を擁するなど、今なお発展を続けている地域である一方で、住民の転出等により、地域活力の創出を担う若い世代の減少が課題となっています。

本事業は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、大きな制約のもとで実施することを余儀なくされましたが、お互いに知恵を出し合いながら様々な取組みを実施し、区民の皆様へ山城地域の魅力を発信することができました。以下、これまでの取組みについてご紹介します。



美味しいお茶の淹れ方、楽しみ方

「お茶」に関する取組みでは、「お茶の淹れ方・楽しみ方」の動画を作成するとともに、区内のイベントで淹れ方の実演を行いました。また、オリジナルブレンドと

して「特産品開発」を進めています。区民を対象にしたアンケート調査では、緑茶に対する好感度が非常に高い上に、ポジティブなイメージをお持ちの方も多く、新しい特産品の開発について明るい展望が期待できます。

山城地域の特産品等を活用した取組みでは、10種類を超えるメニューを開発し、渋谷区で実施された「京都やましろ食材フェア」などで提供しました。また、各地域の特産品をはじめ、豊かな自然環境や社寺仏閣など、来て、見て、心安らぐ、楽しめる場所である山城地域の魅力を伝えるため、区民向けオンラインツアーを実施しました。京都の魅力ある地域の一つとして山城地域を認識していただき、参加者からは「訪れてみたい」とのご意見が寄せられています。

今後は、さらに山城地域と渋谷区との交流を深めるため、新たに子どもの交流事業を展開するとともに、これまで実施してきた特産品や自然環境などを活かした山城地域ならではの魅力発信の手法について、検討を進める必要があると考えています。

(宇治市・京都府山城地域とりまとめ自治体)



京都やましろ食材フェア